

# 福島市が進めるデジタル化 ～中小企業のパワーアップに向けて～

令和6年2月20日  
福島市長 木幡 浩

# 目次

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| ■基本方針                             |    |
| 1. 私の基本姿勢                         | 4  |
| 2. 福島市の目標・夢 ～総合計画                 | 6  |
| 3. 世界にエールを送るまち ふくしまを目指して          | 7  |
| ■改革マインドの醸成/職員の意識改革                |    |
| 1. 意識改革へのショック療法 ～ペーパーレス化          | 9  |
| 2. ひとり1改善運動「かえるチャレンジ」             | 9  |
| ■デジタル改革                           |    |
| 1. デジタル都市宣言                       | 11 |
| 2. 市民総ぐるみのDX推進体制                  | 12 |
| 3. デジタル都市に向けた戦略と推進施策              | 13 |
| (1) デジタルファーストのサービス向上              | 14 |
| (2) マイナンバーカードの普及促進と利活用            | 14 |
| (3) デジタル活用によるコミュニケーションの強化         | 15 |
| (4) 行政のデジタル化による高度化・効率化            | 15 |
| (5) 情報セキュリティの確保                   | 17 |
| (6) 新たなコミュニティと共生社会の形成             | 18 |
| (7) 医療のデジタル化と健康づくり                | 19 |
| (8) 子育て支援・教育のデジタル化                | 20 |
| (9) デジタルを活用した賑わいの創出               | 20 |
| (10) デジタルを活用した農業や商業の振興            | 21 |
| (11) デジタル関連事業者の集積とこれを活かした産業活動の活性化 | 22 |
| (12) 市民総ぐるみのデジタル化                 | 22 |
| (13) デジタル人材の育成・確保                 | 23 |
| (14) 市民相互のサポート・学びあい               | 24 |
| ■中心市街地のまちづくり                      |    |
| 1. 風格ある県都を目指すまちづくりとまちなかのこれまでの取組   | 26 |
| 2. 東口再開発の状況                       | 28 |
| 3. 西口の状況と東西一体のまちづくり               | 33 |
| 4. 福島市の財政状況                       | 35 |
| ■(参考) 中小企業が活用できるデジタル支援メニュー (国、県)  | 36 |

# 基本方針

An aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a dense residential area with many small houses and a few taller buildings. The city is surrounded by greenery and mountains in the background. A semi-transparent white box is overlaid on the left side of the image, containing the text '基本方針' (Basic Policy) in green. The sky is blue with scattered white clouds.

# 1. 私の基本姿勢①

一般的な市長の役割＝行政 → 地域経営  
復興・創生、世界にエールを送るまち



# 1. 私の基本姿勢②

## 最小の経費で最大の効果・満足



\* Win-Win関係

## 2. 福島市の目標・夢 ～総合計画

# 人・まち・自然が奏でるハーモニー 未来協奏(共創)都市 ～世界にエールを送るまち ふくしま～

- ・市民が誇りをもって住み続けたい、よその人が関わってみたいと思うまち
- ・これを実現し、大震災からの復興創生を成し遂げることで、「世界にエールを送るまち」に

### 基本理念（まちづくり全体を網羅する重要な5つの視点）

#### 1. 福島らしさを生かした新ステージの形成

自然や歴史、花や音楽等、福島らしい特徴を生かす視点  
グレードアップしていく視点

#### 2. 持続可能性の実現

地域としての持続可能性、SDGsの要素や考え方を考慮する視点

#### 3. 多様性の尊重

人間尊重や一人ひとり、様々な主体の多様性を尊重する視点

福島らしさを生かしたここにしかないまち



田園の豊かさ、人の好さを生かした  
共生・共創のまち

#### 4. 県都としての責務

「福島」の名を有する県都として県全体の発展、復興・創生に貢献する視点

#### 5. ポストコロナ時代を見据えた社会づくり

ポストコロナ時代を見据えた新たな発想による社会づくりの視点

### 3. 世界にエールを送るまち ふくしまを目指して

## 復興創生・広域的発展を牽引

### 住み続けたいまち

移住・定住拡大

ゼロカーボン化  
デジタル化

安全・安心

子育て・教育


産業振興

賑わい・文化

女性等活躍  
共創

関係人口拡大

### 関わりたいまち



# 改革マインドの醸成 / 職員の意識改革



# 1. 意識改革へのショック療法 ～ペーパーレス化

- ①市長就任2週間で、市役所内最高会議のペーパーレス化（H30.12）  
→ 上位役職者に丁寧な文化の破壊 ～全庁的な「ペーパーレス大作戦」（H30～R元）  
※紙の使用量12%削減、約850万円のコスト削減（H29→R元）
- ②市議会ではR3年6月定例会議より「完全ペーパーレス化」

## 2. ひとり1改善運動「かえるチャレンジ」

<かえるチャレンジ取組件数>

| H30  | R元   | R2  | R3  | R4  | R5   |
|------|------|-----|-----|-----|------|
| 235件 | 151件 | 97件 | 91件 | 45件 | 130件 |

当初：提案・単純改善が大半 → 減少

→ 実践型、より深い取組み増加（デジタル活用のBPR、常識の見直し等）

- ①議会答弁検討システム（H30）  
※年間合計55,000枚の削減効果
- ②罹災証明発行システム（R元）～部局を超えシステムで情報共有
- ③コロナ関連業務の内製化（R2～R4）  
・感染者等管理やワクチン接種管理を多数内製システムで実施

# デジタル改革

An aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a dense residential area with many small houses and a few larger commercial buildings. In the background, there are mountains under a bright blue sky with scattered white clouds. A semi-transparent white rectangular box is overlaid on the left side of the image, containing the Japanese text 'デジタル改革' (Digital Reform) in a green, sans-serif font.

# 1. デジタル都市宣言

3つの戦略に基づき「デジタルで便利で豊かな新ステージ」を目指す  
デジタル都市を宣言 (R4.11)

- ①デジタルを活用した市民サービスの向上と行政の高度化・効率化
- ②デジタルを活用した市民生活を豊かにするまちづくりと産業振興
- ③市民共創で高齢者にもやさしいデジタル化



## 2. 市民総ぐるみのDX推進体制

### ①官民連携による地域全体の推進体制

#### ◎ふくしまデジタル推進協議会（R4.7設立）

- ・デジタル企業等の専門的知見を取り入れながら、各界トップにより、デジタル化推進の全市的合意形成と方向性の共有を図るとともに各界トップのコミットメントを形成

#### ○デジタル推進者会議（R4.7設立）

- ・協議会構成メンバーの実務的「デジタル推進者」で構成
- ・協議会の実行組織として、協議会のもと地域全体・各分野のデジタル化を推進（会員間での情報発信・共有等）

#### ●特定DXプロジェクトの分科会(医療・健康など)

市内各界の代表等で構成

|        |             |
|--------|-------------|
| 行政     | 商工・<br>中小企業 |
| 農業     | 観光・交通       |
| 医療・福祉  | 教育・こども      |
| 地域・NPO | 高齢者・<br>女性  |
| 情報     | その他         |

### ②福島市(庁内)の推進体制

福島市DX推進本部

市長 CDO (Chief Digital Officer) - 最高デジタル責任者 -

副市長 副CDO (副Chief Digital Officer) CDO補佐官

(各部DX推進体制)

情報政策監 統括DX推進責任者 各部長 部DX推進責任者

■インソーシングチーム

- ・主任DX推進員
- ・DX推進リーダー

担当者 DX推進員

# 3. デジタル都市に向けた戦略と推進施策

## 目指す姿

### デジタルで 便利で豊かな 新ステージ

○市民共創で、高齢者にもやさしいデジタル化を推進し、市民生活と地域活動の全体にわたってデジタル化を浸透させていきます。

○人とデジタルの融合のもとで、市民生活をより便利で快適に向上させるとともに、産業振興など地域の活性化を図り、持続的に発展する都市を形成していきます。

## 3つの戦略

1 デジタルを活用した市民サービスの向上と行政の高度化・効率化

2 デジタルを活用した市民生活を豊かにするまちづくりと産業振興

3 市民共創で高齢者にもやさしいデジタル化

## 推進施策（14）

- (1) デジタルファーストのサービス向上
- (2) マイナンバーカードの普及促進と利活用
- (3) デジタル活用によるコミュニケーションの強化
- (4) 行政のデジタル化による高度化・効率化
- (5) 情報セキュリティの確保
- (6) 新たなコミュニティと共生社会の形成
- (7) 医療のデジタル化と健康づくり
- (8) 子育て支援・教育のデジタル化
- (9) デジタルを活用した賑わいの創出
- (10) デジタルを活用した農業や商業の振興
- (11) デジタル関連事業者の集積とこれを活かした産業活動の活性化
- (12) 市民総ぐるみのデジタル化
- (13) デジタル人材の育成・確保
- (14) 市民相互のサポート・学びあい

# (1) デジタルファーストのサービス向上

## ① コンビニ交付サービス

- ・住民票等の各種証明書 ～窓口より100円安く取得可
- ・住民票・戸籍・印鑑証明等：全体の19.8%がコンビニ交付（R5.4～12）
- ・税証明（所得、所得課税）：全体の20.3%がコンビニ交付（R5.4～12）



## ② 証明書オンライン交付申請（R5.10～）

- ・住民票や税証明等16種類の証明書をオンラインで申請・決済し、書類が自宅で受け取れる

# (2) マイナンバーカードの普及促進と利活用

## ① マイナンバーカードの普及（R5.12末）

|      | 保有率   | 交付率   | 申請率   |
|------|-------|-------|-------|
| 福島市  | 73.9% | 79.0% | 82.8% |
| 全国平均 | 73.0% | 77.7% | 79.0% |

## ② ぴったりサービス

- ・これまで窓口に来庁して紙等で提出していた申請手続きが、マイナンバーカードを使ってスマートフォン等から申請することが可能
- ・196手続きが申請可能 ※全国トップクラス（R6.1末）

## (3) デジタル活用によるコミュニケーションの強化

### ①市LINE公式アカウント（R2.11～）

- ・ 市政情報の受信、道路や公園等の不具合を写真付きで通報できるシステム、相談・講座・イベント等の予約システムなどの各種サービス
- ・ 登録者数：約3万8千人（R5.10末）→約7万4千人（R6.1末）  
デジタルクーポンにより登録者数約2倍に増加



【県内初】

### ②テレビのデータ放送（dボタン）による市政情報発信の多重化（R5.4～）

### ③ショート動画の市政広報（若い世代向け）（R5.10～）

## (4) 行政のデジタル化による高度化・効率化①

### ①本市初の自治体ビジネス

- ・ 民間企業との連携により議会答弁検討システム「答べんりんく」が商品化され全国発売（R5.4）※現在5団体導入済み、当面25団体程度見込み

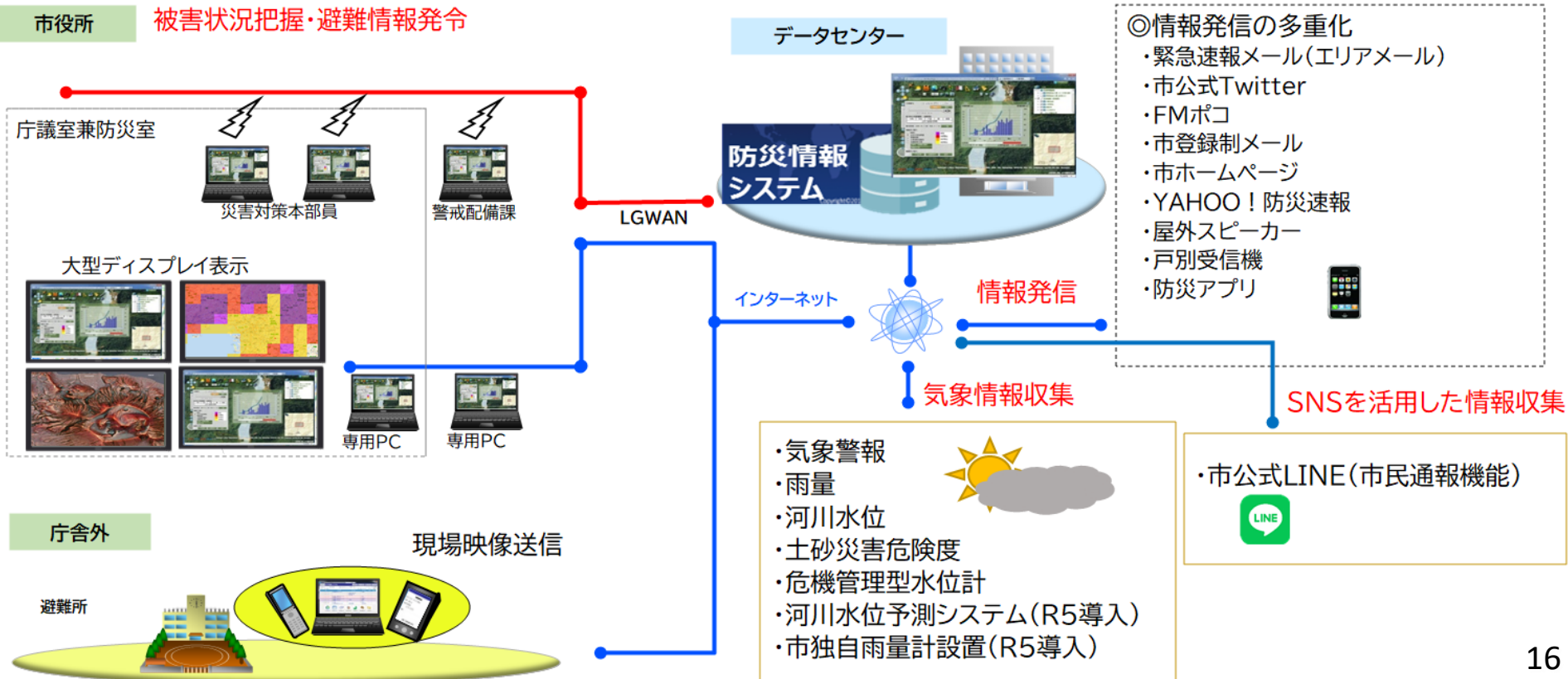
### ②業務システムの内製化

- ・ 専任職員をデジタル改革室に配置（R5.4～）
- ・ オンライン申請の拡充やRPAによる作業の自動化等、市販のシステムでは対応できない業務システムやRPAの内製化を強力に推進
- ・ H30～R4年度までに34件の内製システムが稼働
- ・ R5年度はすでに33件の内製システムを稼働（年間1,934時間の削減効果）し、+46件を現在対応中

# (4) 行政のデジタル化による高度化・効率化②

## ③災害対策のデジタル化

- ・ 災害情報等を一元的に管理・収集する災害対策オペレーションシステムを運用 (R3.5~)
- ・ 新たに設置する市独自雨量計や既存水位計等とデータ連携することで、突発的豪雨にも対応可能となる「河川水位予測システム」を導入 (R5.7)
- ・ 令和元年台風19号の対応を契機に、罹災証明の申請から発行までをシステム化 (R元.10)





## (4) 行政のデジタル化による高度化・効率化③

### ④電子入札の実施 (R5.7～)

- ・工事と工事関連業務委託の発注においてシステムを導入し、業者が来庁する時間コスト等を効率化
- ・入札参加者の利便性向上と事務の効率化を図るとともに、地域経済のデジタル化を促進する

### ⑤生成A I の活用による事務効率化 (R5.6～)

- ・生成A I (ChatGPT) を活用し、要約作業や文書生成作業を効率化
- ・有効性が確認されたことから、生成A I (zevo : R6.1～) を全庁展開するとともに、A I 時代に対応できる職員の育成を図る

### ⑥自治体情報システムの標準化・共通化 (ガバメントクラウド)

- ・R 5 年度に庁内のDX推進ワーキンググループを立ち上げ、システム標準化対象の20業務について、標準仕様と現行の業務を比較するフィット&ギャップの作業をBPRの視点を踏まえながら実施

## (5) 情報セキュリティの確保

- ・市が扱う情報を安全に通信する仕組みを運用し、情報セキュリティ体制に万全を期す
- ・サイバー攻撃等への対応を行うCSIRT (Computer Security Incident Response Team) を設置 (R4)

# (6) 新たなコミュニティと共生社会の形成

## ① ICTを活用した町内活動支援

- ・電子町内会（R2～）  
市からの回覧物等を町内会内部へスピーディーに情報発信
- 参加町内会数

| R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度             |
|------|------|------|------------------|
| 4町会  | 25町会 | 31町会 | 40町会<br>(R5.12末) |

- ・電子町内会ウェブサイトの構築（R4.11）  
市からの連絡や地域情報等をウェブサイトに掲載

ウェブサイトイメージ



## ② 高齢者の見守りの推進（H29～）

- ・認知症の方の身元確認ツールを活用し、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを支援

## ③ 公共施設予約システム（R3.12～）【キャッシュレス決済可能な予約システムは 東北初】

- ・スポーツ施設等36施設にキャッシュレス決済可能なシステムを導入
- ・オンライン予約利用率：45.0%（R5.12末）
- ・キャッシュレス決済利用率：41.7%（R5.12末）

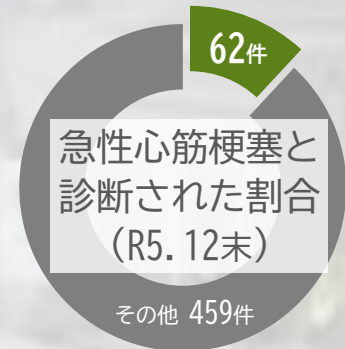
# (7) 医療のデジタル化と健康づくり

## ① 12誘導心電図の運用 (R4.8~) 【県内導入1例目】

- ・救急車10台に12誘導心電図装置を配備。リアルタイムに心電図を病院と共有して救急患者の救命率向上

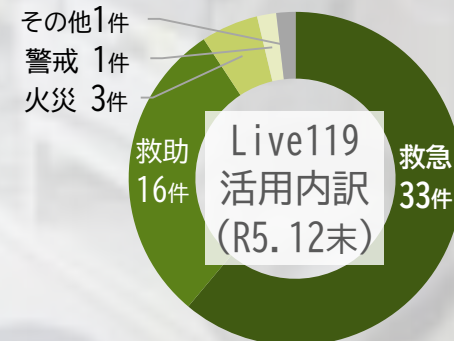
### 【実績】

- ・R5年12月までに521件の送信事例
- ・うち急性心筋梗塞と診断された62件。50代男性が4名
- ・緊急手術等の治療がただちに行われ、良好な経過となるなど高い効果



## ②映像伝送システムLive119の活用 (R5.6~)

- ・119番通報者のスマートフォンを活用、現場の映像をリアルタイムで共有する映像伝送システム
- ・被害状況や傷病者の容態をより詳しく確認、消防車両到着前に適切な対応要請が可能になる等、視覚的な情報把握で救命率を向上
- ・活用実績：54件(R5.12末)



## ③休日小児科当番医のオンライン診療 (R5.10~)

- ・スマートフォン等で申込や受診、処方された薬は市内薬局で当日受取可能
- ・小児科の新規開業支援、オンライン診療の活用を図りながら、市民へ適正受診の協力を依頼し、持続可能な小児科医療体制を確保していく

## (8) 子育て支援・教育のデジタル化

### ① 保育所・幼稚園・小中学校における子ども見守りの推進

- ・ 保育業務支援システム（コドモン）で登園や保護者連絡を管理（R2）

### ② 電子図書館の開設（R5.2）

- ・ 夏休み前に全小中生へ利用者IDを付与

※7月の利用状況は前月比で貸出数が5倍、閲覧数が3.7倍と大幅増加

### ③ 学校教育のデジタル化

- ・ 一人一台端末を活用し、教育の質の向上。デジタル教科書の前倒し活用、持ち帰り学習、臨時休業等でも学びを止めない工夫＝全校オンライン学習の日など（R3.4～）
- ・ 学校図書館のネットワーク化 ～学校間や市立図書館との横断検索や図書の貸し借りの連携を可能とするネットワークシステムを整備中

## (9) デジタルを活用した賑わいの創出

### ① デジタルスタンプラリーの開催

### ② デジタルエンターテイメントの導入（R6.3予定）

- ・ こむこむ館にプロジェクションマッピングを活用したデジタルコンテンツを導入、遊びながら学べる場を提供

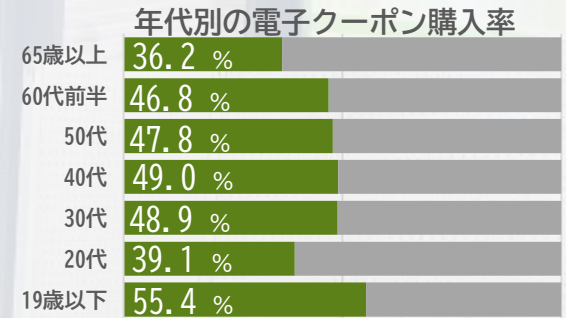
### ③ ももりんシェアサイクルの運営（R4.7～）

- ・ 自転車の増台やサイクルポートの増設等サービスを拡充

# (10) デジタルを活用した農業や商業の振興

## ①福島市デジタルくーぽん事業 (R5.11) 【本市初の電子クーポン】

- ・高齢者等スマホの操作に不慣れな方の購入等は、スーパーや学習センター等17か所でサポーターにより手厚く支援
- ・購入率：44.7% ※R6.1末(速報値)



## ②福島市選択型エールクーポン (R6.3予定)

- ・購入不要な値引き型の紙クーポンまたはデジタルクーポンのいずれかを選択して利用
- ・デジタル選択率(世帯単位)：21.17% ※R6.2(速報値：2/16時点)

## ③スマート農業の推進

- ・スマート農業実演会を開催 (R5.10)
- ・農薬散布ドローンや自動草刈りロボットを実動し、ICTの先端技術を活用した機器の利便性を発信

## ④デジタルマッチングによる農作業補助者の確保

- ・農業1日バイトアプリ「デイワーク」を活用し、市役所における部分兼業制度「カジュワーク職員制度」を創設 (R4.7)
- ・これを機に、農業全般における「デイワーク」による農作業補助者確保を促進
- ・農業者の活用停滞  
→シルバー人材センターICT班による登録出張サポートを実施 (R5.12~R6.1)

# (11) デジタル関連事業者の集積とこれを活かした産業活動の活性化

## ①街なかでのクリエイティブ産業の集積

- ・クリエイティブ事業者の街なかでの事業所開設を支援し、集積促進（家賃補助、リノベーション支援）
- ・R6年度からは、新規出店誘導区域における新規出店・事業所開設のための準支援としてデジタル環境整備も補助対象

## ②クリエイティブビジネスサロンの開設運営（R4.4～）

- ・リモートワーク環境を備えたシェアオフィス、コワーキングスペース等

## ③デジタル専門学校開校

- ・市、テレビユー福島、デジタルハリウッドが、デジタルを活用したひと・まちづくり協定を締結（R5.5）

# (12) 市民総ぐるみのデジタル化

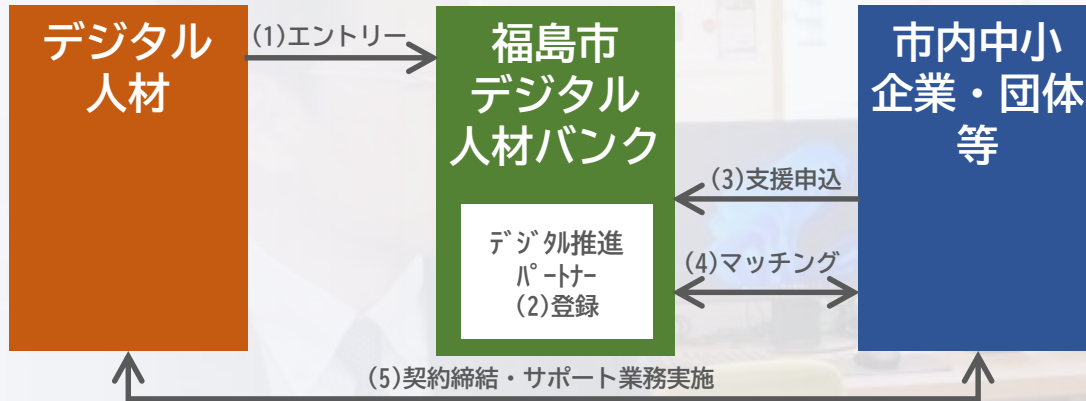
## ①ふくしまデジタル推進協議会（R4.7設立）[再掲]

## ②デジタル化推進フォーラム等の開催（R5.11）～市民、中小企業等の啓発

# (13) デジタル人材の育成・確保

## ① 福島市デジタル人材バンク (R4.12～)

- ・福島市内で活躍したい思いを持つデジタル人材と、デジタル人材の支援を受けて解決したい課題を持つ市内中小企業や団体等をマッチング



- ・登録者数：51名 (R6.1末)
- ・マッチング成立件数：8件 (R6.1末)

## ② 行政における人材育成・確保

- ・CDO (最高デジタル責任者) 補佐の登用
- ・民間からの人材登用 (地域活性化起業人制度活用)
- ・職員の育成 (デジタル研修、DX推進員の育成)

### ■得意分野ごとのデジタル人材登録人数 (重複カウントされる人材を含む)

| デジタル人材の得意分野      | 個人 | 法人 |
|------------------|----|----|
| WEBサイト構築         | 5  | 4  |
| WEBデザイン          | 7  | 2  |
| WEBライター          | 4  | 1  |
| 動画制作             | 4  | 1  |
| デジタルイラスト制作       | 1  | 0  |
| コンサル・ITコーディネータ   | 7  | 5  |
| 宿泊業向けデジタル化支援     | 1  | 1  |
| デジタルマーケティング      | 4  | 3  |
| デジタルデバイス活用       | 4  | 1  |
| 製造系システムの支援       | 1  | 0  |
| 会計システムの支援        | 1  | 0  |
| ARアプリ開発          | 1  | 0  |
| デジタル人材 (DX人材) 育成 | 3  | 3  |
| その他 (分野特化、汎用的)   | 6  | 3  |

### ■デジタル人材バンクのマッチング内容

| 内容             | 件数 |
|----------------|----|
| ホームページリニューアル   | 2件 |
| Web記事執筆        | 2件 |
| チラシデザイン        | 2件 |
| 人材紹介 (講師、モニター) | 2件 |

# (14) 市民相互のサポート・学びあい

## ① 高齢者スマートフォン利活用支援講座

- ・全学習センターで高齢者向けスマホ講座を開催
- ・実施回数：279回、延べ参加者数：1,803人(R6.2)



## ② デジタルクラブ

- ・高齢者同士が学習センター等で自主的に学び合うクラブの設立を支援
- ・吉井田、三河台、吾妻の3クラブ開設 (R6.2)



## ③ 子どもたちとのデジタル交流

- ・子どもたちと高齢者のデジタル交流と学び
- ・子どもたちがスマホ操作の先生になることも

## ④ デジタルサポートデスク

- ・誰でも気軽にデジタルの相談が可能な窓口を設置
- ・毎週月・水・金曜日に開設 ~予約枠はほぼ満杯
- ・延べ相談件数：627件(R6.2)

## 【育成】

### シニアICTサポーター

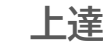
- ・アドバイスできる高齢者を登録し、デジタル活用に不慣れな高齢者が困ったときに、地域で支援し合う
- ・登録者数：63名 (R6.2)



## 【連携】

### シルバー人材センターICT班

- ・デジタルサポートデスクの水曜日の相談を担当
- ・登録者数：20名 (R6.2)







# 中心市街地の まちづくり

# 1. 風格ある県都を目指すまちづくりとまちなかのこれまでの取組①

## 風格ある県都を目指すまちづくり構想

～福島市中心市街地における将来ビジョン及び公共施設の戦略的再編整備に関する方向性～

### ■ 基本的な考え方 ■

県北全体さらには県下全体に貢献できる風格ある県都を目指し、以下の5つを基本方針にまちづくりを推進します。

- (1) 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくりを推進します
- (2) 魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進します
- (3) まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくりを推進します
- (4) 快適で住みやすいコンパクトなまちづくりを推進します
- (5) みんなが参画し、連携するまちづくりを推進します



### 福島駅前周辺エリア

- 東口再開発**
- ➡ 高次の都市機能の集積・強化
  - ➡ 商業機能、業務機能、宿泊機能、居住機能、コンベンション機能などの整備

- コンベンション施設**
- ➡ 公会堂機能、市民会館の一部機能を統合化
  - ➡ コンベンション機能の強化

- ふくしまの顔づくり・賑わいの形成**
- ➡ 西口大庇の整備や西口エールビジョン、東口デジタルサイネージの設置、シティ・ドレッシング事業により賑わいを形成

- 新東西自由通路**
- ➡ 検討課題を踏まえた中長期的な調査研究

- 図書館本館**
- ➡ 基本的な方向性やコンセプト、適地、複合化等の検討

- サッカースタジアム**
- ➡ 検討課題を踏まえた中長期的な調査研究

# 1. 風格ある県都を目指すまちづくりとまちなかのこれまでの取組②

①クリエイティブビジネスサロン



②駅前地下歩道ストリートピアノ階段アート、新・街なか交流館



③歩行者天国定期化(軽トラ市)



④新まちなか広場整備



⑤東口再開発事業



## 街なかの新しい動き



⑥県立医大保健科学部開設ほか、大原綜合病院・福島赤十字病院移転新築



⑪古関裕而記念館リニューアル



⑩消防庁舎の再整備計画

(イメージパース)



⑨(仮称)市民センター整備



⑧県庁通りアーケード改修



⑦バセオ通りバリアフリー化



### 空き店舗の活用

- ・街なか再生リノベーション支援
- ・街なか空き店舗出店支援

R5年度**46**件が  
まちなかへ出店！！

#### ●業種別

| 業種        | 件数 |
|-----------|----|
| 飲食        | 27 |
| 美容        | 10 |
| 小売        | 4  |
| サービス      | 2  |
| デザイン      | 1  |
| 医療        | 1  |
| Webサービス開発 | 1  |
| 合計        | 46 |

#### ●地域別

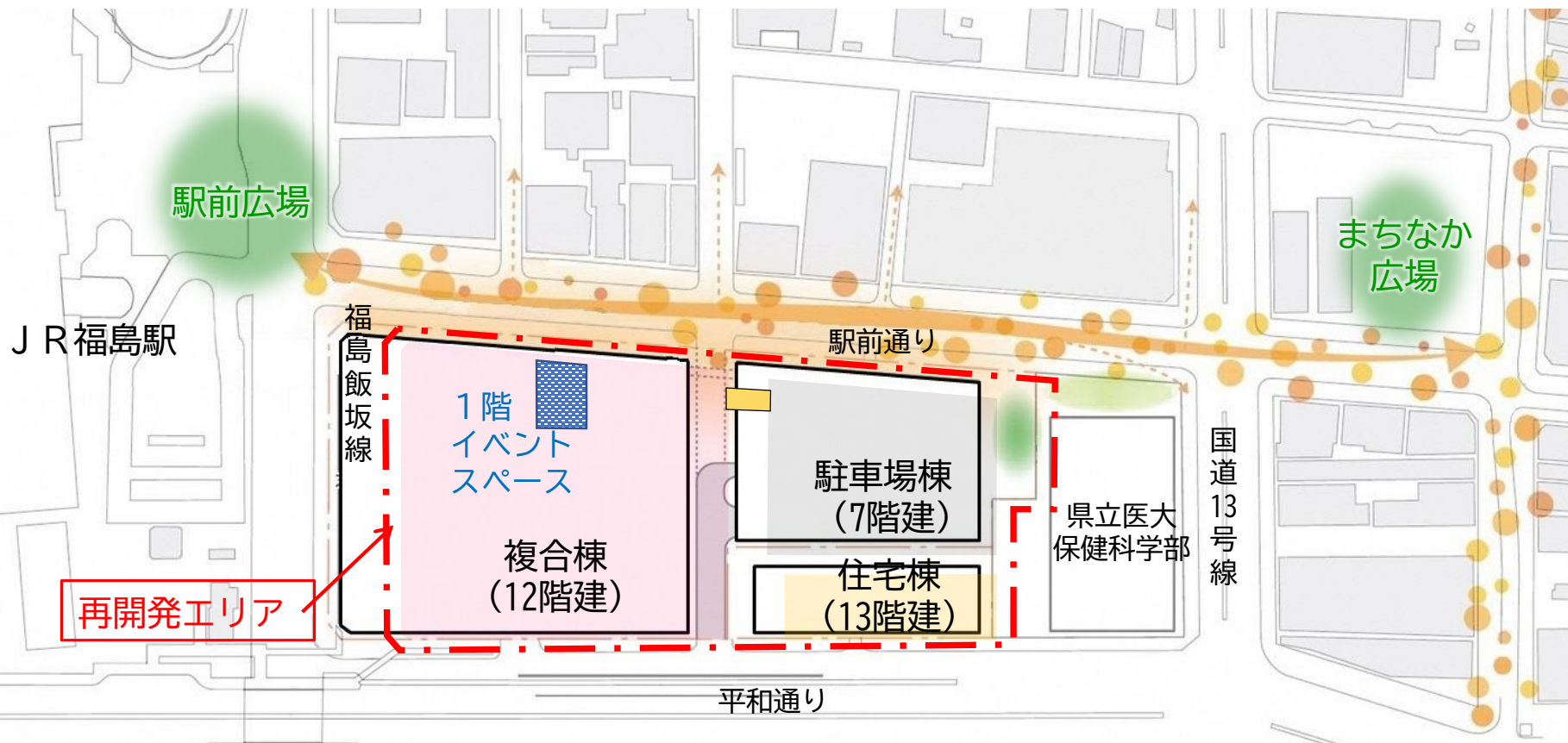
| 町名  | 件数 |
|-----|----|
| 置賜町 | 18 |
| 栄町  | 7  |
| 大町  | 6  |
| 本町  | 6  |
| 新町  | 5  |
| 万世町 | 4  |
| 合計  | 46 |

## 2. 東口再開発の状況①

～現行計画の概要～

【R4.5月時点】

|       |                                |       |          |
|-------|--------------------------------|-------|----------|
| ○事業費  | 約492億円【補助金約244億円 ※国1/2、県・市1/2】 |       |          |
| ○敷地面積 | 約1.4ha                         | ○延床面積 | 約72,540㎡ |
| ○複合棟  | 商業、福島駅前交流・集客拠点施設、オフィス、ホテル      |       |          |
| ○駐車場棟 | 駐車場、商業、業務                      |       |          |
| ○住宅棟  | 分譲マンション                        |       |          |



# 2. 東口再開発の状況②

## ～福島駅前交流・集客拠点施設の概要～

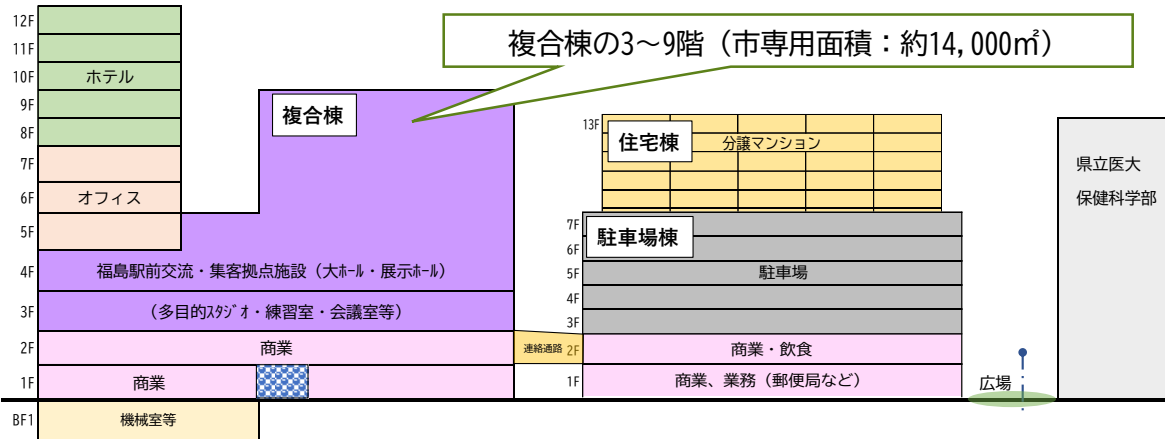
### 施設概要

【R4. 5月時点】

| 構成             | 機能  |
|----------------|---|
| 大ホール・<br>展示ホール | 大ホール時…1,500席程度<br>展示ホール時…ロビー・ホワイエ含め3,000㎡程度<br>大ホール・展示ホール併用…800席程度、2,300㎡程度<br>⇒ 最大3,000人規模の催事が可能 |
| 多目的スタジオ        | 300㎡程度  |
| 練習スタジオ         | 20～40㎡程度を2室   |
| 会議室            | 大・中・小会議室  |



※大ホールのイメージ



※イメージパース

# 2. 東口再開発の状況③

～これまでの検討概要(複合棟の分棟化)～

現計画

分棟化 (権利者棟+公共棟)

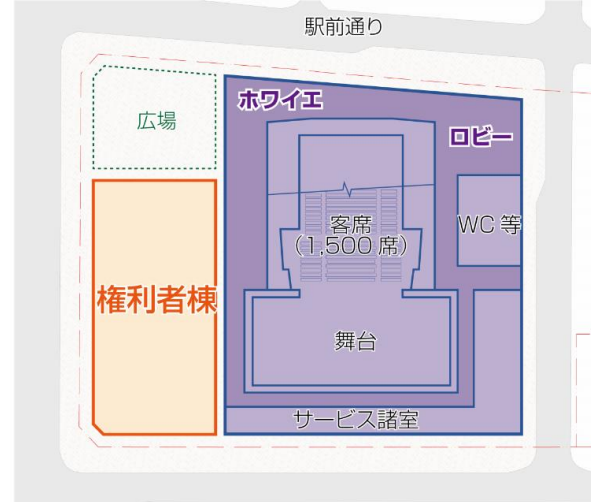
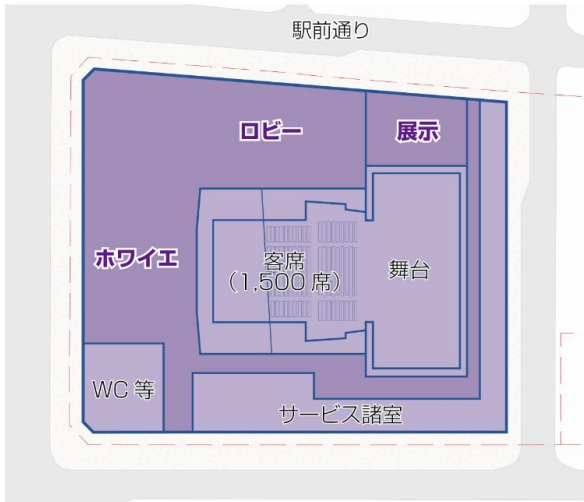
## 複合棟の分棟化の検討結果

(1)市施設の設計が窮屈となり、使い勝手が悪くなる。  
【ロビー・ホワイエ(ホールとの一体活用を想定)が十分に確保できないなど】

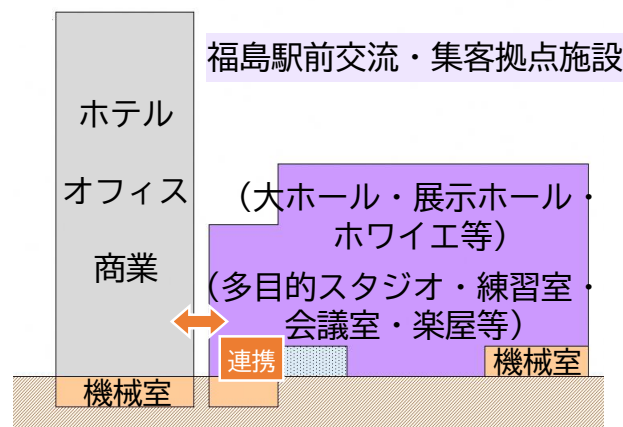
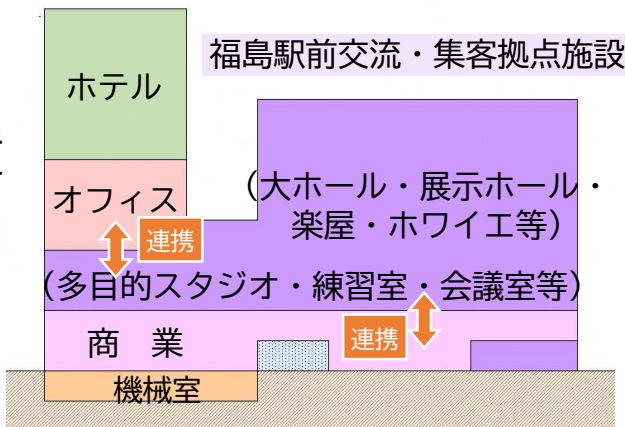
(2)テナント誘致の目途が立ち、権利者棟の構成を決めなければ、再開発事業として成立するか確認できず、資金※調達ができない(市施設のみ先行着手できない)※つなぎ資金

(3)共用部分の経費分担の軽減、ランニング収支の改善に一定の効果が見込まれる。

平面図



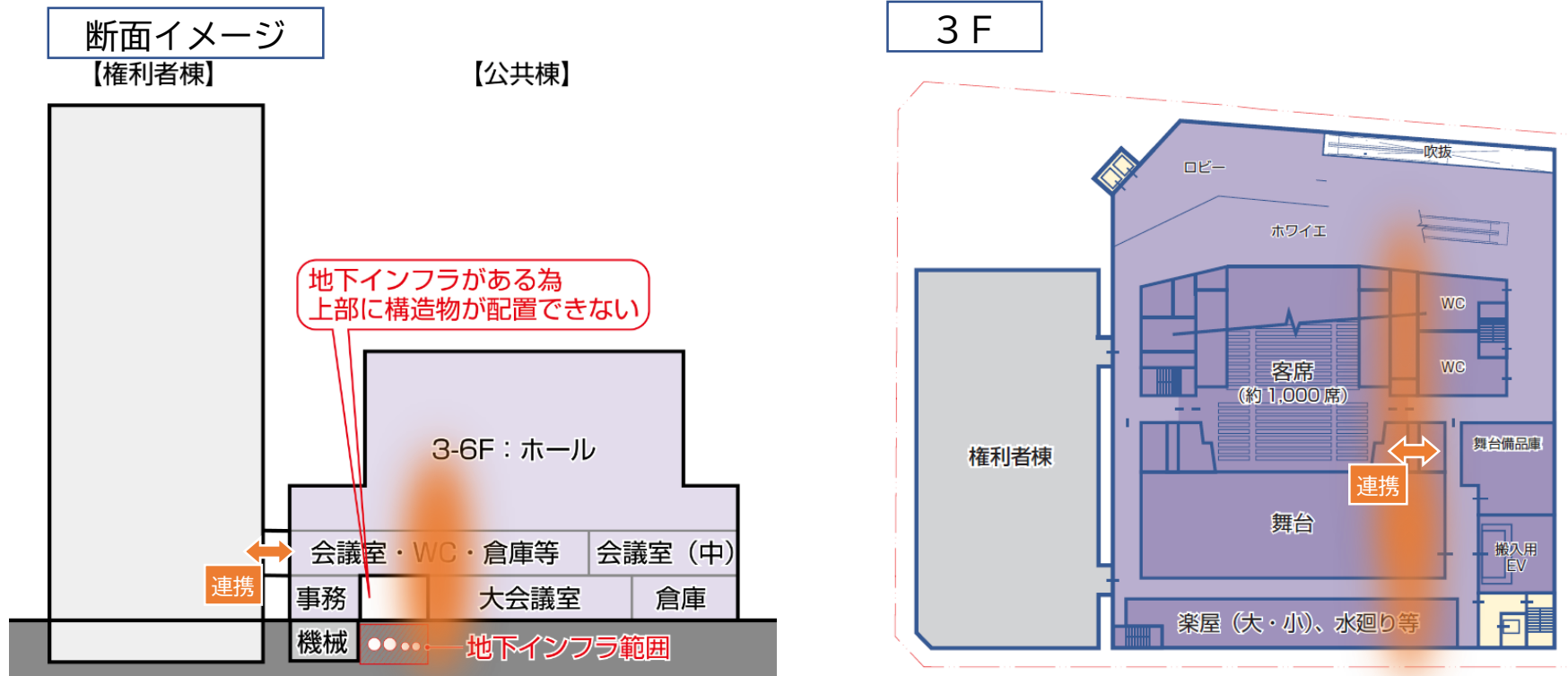
断面図



## 2. 東口再開発の状況④

～これまでの検討概要(分棟化+ダウンサイジング-A案)～

劇場ホール単独 (約1,000席)



### <施設イメージ>

- ・地下1階～地上6階
- ・延床面積 約1万6千㎡
- ・ホール客席数 約1,000席 (段床式)

### <催事イメージ>

- ・音楽や演劇、舞踏等の公演、大会や学会等のコンベンション

### <再開発事業全体の概算工事費>

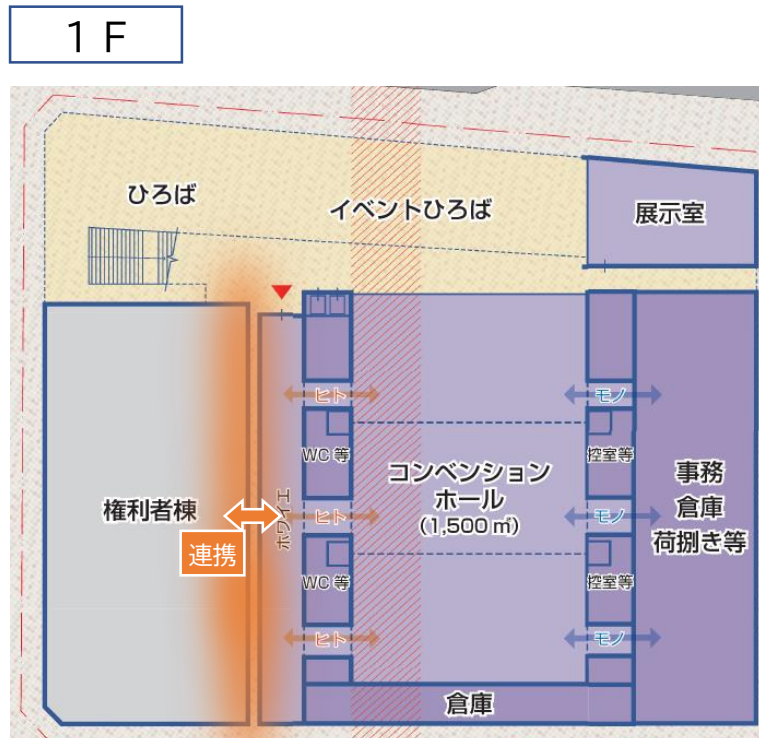
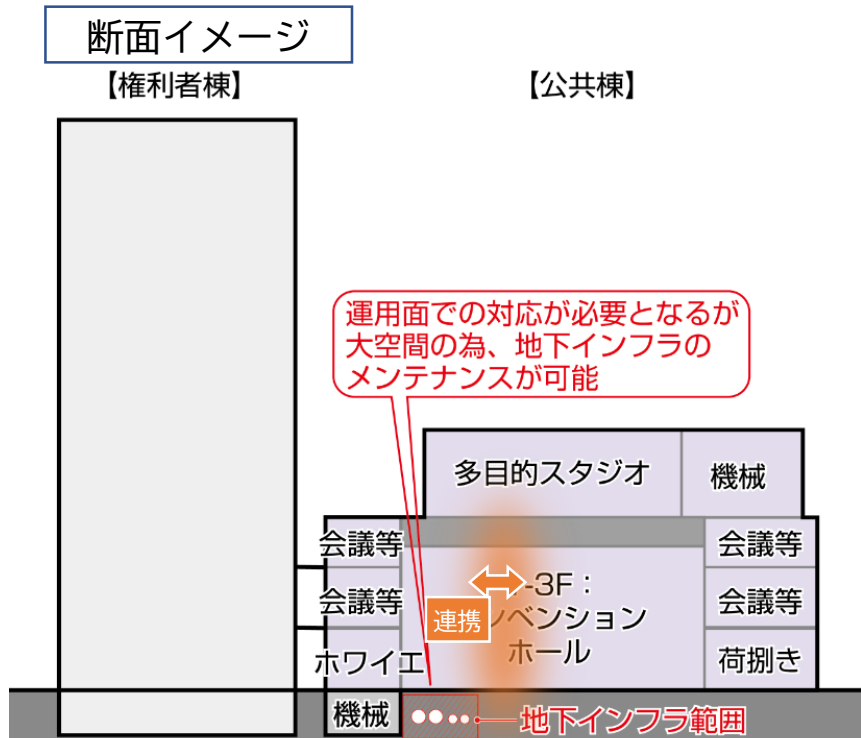
- ・約360～410億円
- (仮の工事費単価や想定面積による仮試算のため変動の可能性あり)

※事業計画認可時：361億円 ⇒ 工事費高騰：479億円  
⇒コスト縮減等検討後：454億円

# 2. 東口再開発の状況⑤

～これまでの検討概要(分棟化+ダウンサイジング-B案)～

コンベンションホール単独案 (約1,500㎡)



## <施設イメージ>

- ・地下1階～地上4階
- ・延床面積 約1万㎡
- うちホール 約1,500㎡ (平土間式)  
(ホール内で最大1,500人規模の催事が可能)

## <催事イメージ>

- ・フェスタ・物産フェア、展示・エンタメ等各種興行イベント、大会や学会等のコンベンション、ロックやポップス等の音楽ライブなど
- ・駅前通りや広場と連続したホールの活用  
(わらじまつり、ホコ天イベントとの連動)

## <再開発事業全体の概算工事費>

- ・約290～340億円  
(仮の工事費単価や想定面積による仮試算のため変動の可能性あり)
- ※事業計画認可時：361億円 ⇒ 工事費高騰：479億円  
⇒コスト縮減等検討後：454億円



# 3. 西口の状況と東西一体のまちづくり①

土地建物所有者：ヒューリック(株) (東京都中央区日本橋)  
 建築年次：1985年(築39年)  
 構造階数：鉄筋コンクリート造3階建て  
 土地面積：約24,400㎡  
 延べ面積：約20,000㎡(店舗11,373㎡)  
 建築面積：約7,800㎡  
 立体駐車場：約340台、平面駐車場：410台  
 用途地域：商業地域、準防火地域  
 指定容積率：500%、指定建蔽率：80%(地区計画あり)

## 東西自由通路の概要

延長：189m 幅員：3.5~6.5m  
 出入口：東口1箇所 中央口1箇所 西口2箇所  
 供用日：昭和56年5月6日 ※中央口⇒H17.7供用  
 風格ある県都構想において中長期的な位置付け

- 元はJR(国鉄)の業務用連絡通路
- 利用者からは、出入口が分かりにくい、他の地下通路とつながっていない、暗くて怖い、などの意見がある



南側 出入口

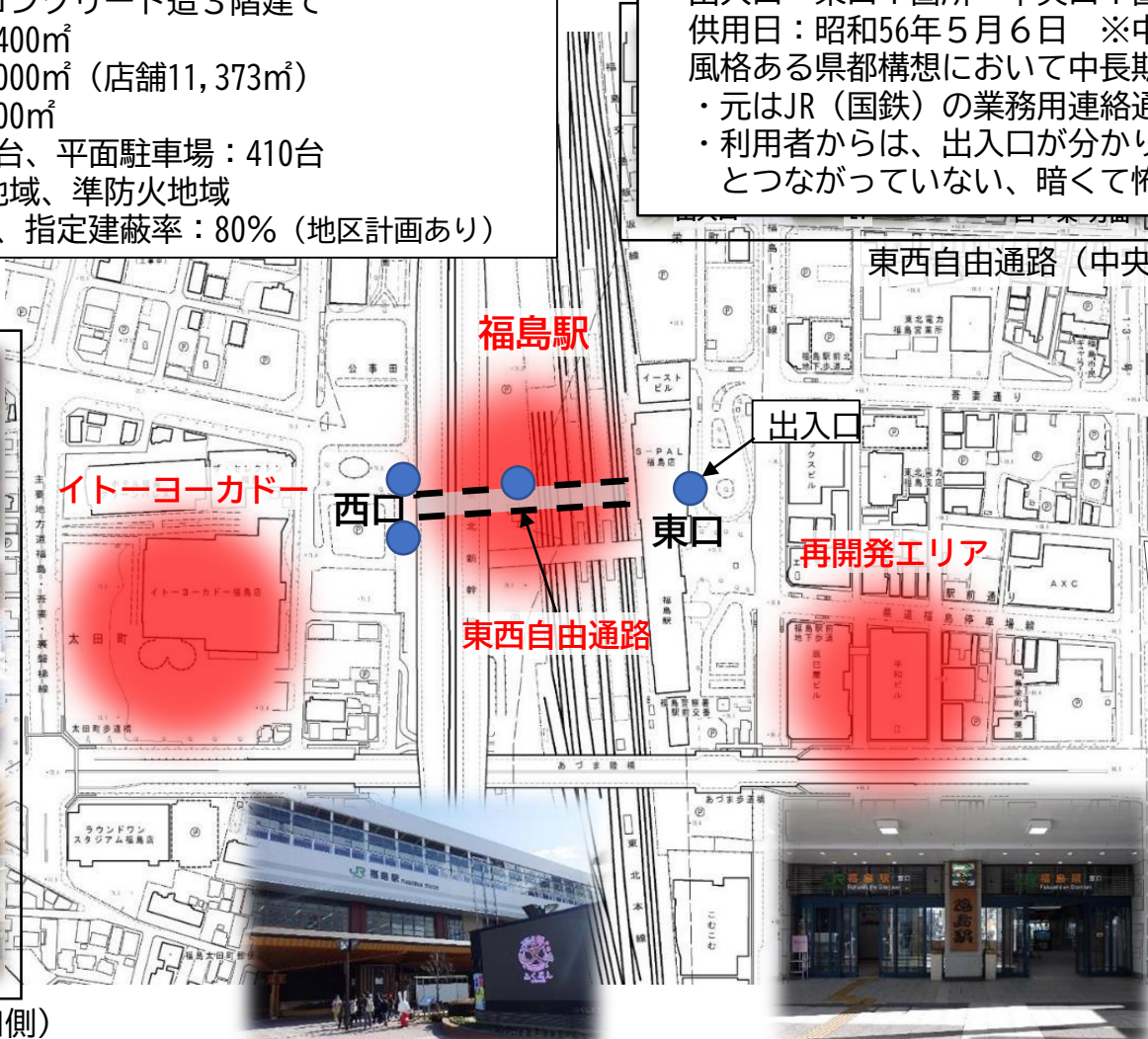


北側 出入口



EV

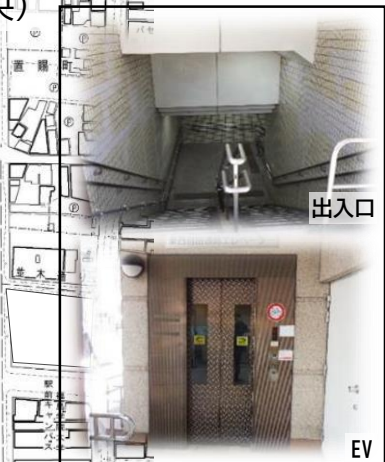
東西自由通路(駅西口側)



西口駅舎



東口駅舎



出入口

EV

東西自由通路(駅東口側)



# 3. 西口の状況と東西一体のまちづくり②

～(参考)他都市の駅橋上化・自由通路～

J R 豊橋駅【豊橋市】



J R 松本駅【松本市】



J R 西広島駅【広島市】



※東北各県庁所在都市は、橋上での東西自由通路が整備済み

# 4. 福島市の財政状況


## ～令和6～10年度 中期財政収支の見通し～

(上段の単位：億円、下段は対前年度伸び率：%)

|                               | 令和5年度  | 令和6年度  | 令和7年度  | 令和8年度  | 令和9年度  | 令和10年度 |
|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| <b>歳入合計</b>                   | 1,374  | 1,231  | 1,267  | 1,227  | 1,175  | 1,076  |
|                               | 1.9    | △ 10.4 | 2.9    | △ 3.1  | △ 4.3  | △ 8.4  |
| 市 税                           | 407    | 407    | 412    | 415    | 411    | 415    |
|                               | 0.8    | 0.1    | 1.1    | 0.7    | △ 0.8  | 1.0    |
| 地方消費税交付金                      | 76     | 82     | 83     | 83     | 84     | 85     |
|                               | △ 0.6  | 7.7    | 1.4    | 0.9    | 0.8    | 0.7    |
| 地方交付税                         | 120    | 134    | 135    | 133    | 137    | 135    |
|                               | △ 21.2 | 11.7   | 0.7    | △ 1.5  | 3.0    | △ 1.5  |
| 国・県支出金                        | 401    | 299    | 351    | 334    | 297    | 277    |
|                               | △ 0.1  | △ 25.5 | 17.4   | △ 5.0  | △ 11.0 | △ 6.6  |
| 基金等繰入金                        | 51     | 57     | 9      | 8      | 11     | 8      |
|                               | 93.0   | 11.5   | △ 84.0 | △ 7.6  | 28.6   | △ 28.8 |
| 市 債                           | 128    | 161    | 186    | 163    | 143    | 64     |
|                               | 42.5   | 26.0   | 15.5   | △ 12.4 | △ 12.1 | △ 54.9 |
| うち臨時財政対策債                     | 15     | 16     | 16     | 16     | 16     | 16     |
| その他の収入                        | 191    | 92     | 92     | 92     | 92     | 92     |
|                               | △ 4.3  | △ 55.0 | 0.1    | 0.1    | △ 0.0  | 0.1    |
| <b>歳出合計</b>                   | 1,374  | 1,261  | 1,327  | 1,286  | 1,229  | 1,135  |
|                               | 10.1   | △ 8.2  | 5.2    | △ 3.1  | △ 4.4  | △ 7.7  |
| 義務的経費                         | 555    | 582    | 593    | 612    | 614    | 633    |
|                               | △ 1.6  | 4.9    | 1.8    | 3.2    | 0.3    | 3.2    |
| 人件費                           | 187    | 208    | 210    | 212    | 210    | 219    |
|                               | △ 1.1  | 11.0   | 1.1    | 0.9    | △ 0.7  | 4.3    |
| 扶助費                           | 270    | 274    | 279    | 284    | 289    | 295    |
|                               | △ 4.5  | 1.6    | 1.7    | 1.9    | 1.9    | 1.9    |
| 公債費                           | 98     | 100    | 104    | 116    | 114    | 119    |
|                               | 6.5    | 2.0    | 3.6    | 11.6   | △ 1.7  | 4.4    |
| 投資的経費                         | 227    | 237    | 313    | 257    | 193    | 80     |
|                               | 41.5   | 4.4    | 32.0   | △ 18.0 | △ 24.8 | △ 58.8 |
| その他の経費                        | 592    | 442    | 421    | 418    | 422    | 422    |
|                               | 12.9   | △ 25.3 | △ 4.8  | △ 0.8  | 1.1    | △ 0.1  |
| <b>歳入歳出差引額<br/>(調整前財源不足額)</b> | -      | △ 30   | △ 59   | △ 59   | △ 55   | △ 58   |
| <b>基金繰入による財源調整</b>            | (29)   | 30     | 59     | 59     | 17     | -      |
| うち財政調整基金繰入金                   | (24)   | 25     | 52     | -      | -      | -      |
| うち減債基金繰入金                     | (5)    | 5      | 7      | 59     | 17     | -      |
| <b>調整後の財源不足額(単年度)</b>         | -      | -      | -      | -      | △ 37   | △ 58   |
| 財政調整基金年度末現在高                  | 77     | 52     | -      | -      | -      | -      |
| 減債基金年度末現在高                    | 63     | 83     | 76     | 17     | -      | -      |
| 計                             | 140    | 135    | 76     | 17     | -      | -      |

※ 令和4年度決算における実質収支のうち35億円を令和5年度に財政調整基金に積み立てることを想定しています。

※ 表示単位未満四捨五入のため、積上げ、差引きが一致しない場合があります。



【参考】  
中小企業が活用できる  
デジタル支援メニュー  
(国、県)

# 中小企業庁：IT導入補助金（通常枠）

## 支援内容

①顧客対応・販売支援、②決済・債権債務・資金回収管理、③供給・在庫・物流、④会計・財務・経営、⑤総務・人事・給与・労務・教育訓練・法務・情報システム、⑥その他業務固有のプロセス、⑦汎用・自動化・分析ツール（単体不可）のいずれかに該当し、生産性を向上・効率化させるプロセスの機能を有しているITツールの導入

## 対象経費

- ①ソフトウェア（ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分））
- ②導入関連費（機能拡張やデータ連携ツールの導入、セキュリティ対策）
- ③導入関連費（コンサル、設定、マニュアル作成、導入研修、保守サポート）

## 補助率

- 1プロセス以上：1／2以内（補助額：5万円～150万円未満）
- 4プロセス以上：1／2以内（補助額：150万円～450万円未満）

## その他

gBizIDプライムの取得、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が実施する「SECURITY ACTION」の「★一つ星」又は「★★二つ星」いずれかの宣言、中小企業庁が実施するデジタル化支援ポータルサイト「みらデジ」における「みらデジ経営チェック」を交付申請前に行う、等の申請要件もある



# 福島県：ふくしま中小企業者等DX伴走支援事業

R5年度の募集は終了

## 支援内容

### DX理解促進セミナー（R5年度）

- ・基礎編「中小企業の弱みを強みに変えるデジタル技術活用事例紹介」
- ・発展編「中小企業だからこそ推進すべきDXの考え方と経営変革」

### 伴走型DX支援プログラム（R5年度）

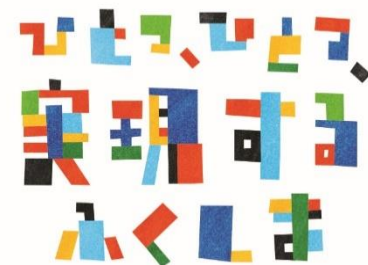
- ・長期伴走支援（支援期間：4～5か月） 14社  
既に業務でパソコン等を使用している企業において、**経営課題の洗い出しからデジタルツールの導入・効果測定**まで行う
- ・短期伴走支援（支援期間：2か月程度） 14社  
業務にパソコン等を使用していない企業へのデジタルツール導入を行う

## 対象経費

- ・DX推進に必要なデジタルツール、システム等の導入経費または月額使用料
- ・DX推進に必要なコンサルティング料、職員研修費用
- ・上記のほか、DX推進に必要な経費として知事が認めたもの

## 補助率

2／3以内（上限50万円）



# 経営相談窓口：福島県よろず支援拠点

## 支援内容

中小企業・小規模事業者、NPO法人、一般社団法人、社会福祉法人等の困難な経営課題を解決するために、中小企業支援に優れた能力・実績等を有するコーディネーターが、専門的な助言や専門家の紹介等を行う。

## 相談の流れ



## 相談費用

無料  
(予約制・回数制限なし)

## 相談申込

福島県よろず支援拠点 福島サテライト  
〒960-8053 福島市三河南町1番20号コラッセふくしま2階  
TEL. 024-525-4064 FAX. 024-525-4065  
受付時間／月～金 9:00～17:00(土日祝祭日除く)

WEB申込▼



中小企業・小規模事業者のための経営相談窓口

福島県よろず支援拠点